

# みみょう幼稚園だより

令和3年5月号 \*\*\*\*\* <http://mimyo.org/youchien/>

## 少し慣れてきたこの頃だからこそ



お姉ちゃんといっしょでうれしいね  
2021.4.21

新年度がスタートして、あっという間に一か月が経ちました。満三歳児も加わった1階の保育室では涙を見ることも、随分と減ってきました。お弁当や給食も、とてもお行儀よく食べています。とは言うものの、まだまだ緊張もあり、苦手な食べ物やお母さんと長時間離れることに、疲れてしまうこともあるようです。年中さんには、新しいお友だちが5人も増えました。2クラスになって、たくさんのお友だちと過ごす2階での生活は、私たちが考える以上に気を遣っているに違いありません。さっそく“みんなの畑”で育てる作物についての話し合いを始めた年長さんも、一人ひとりが、毎日様々な思いを持って過ごしていることと思います。少し慣れてきたこの頃だからこそ、なお一層一人ひとりのペースや心の動きを大事に大事に受け止めながら過ごしていきたいと思っています。

また、新型コロナウイルスの脅威もまだまだ衰えていません。細心の注意を払いながら、子どもたちの活動は楽しくダイナミックに展開して行きたいと思っています。延期にさせていただいた親子遠足や、保育参観についても、感染状況をしっかりと把握しながら、実施をしていきたいと思っています。引き続きご協力のほどよろしく願いいたします。ご不安な点やご意見等につきましても、遠慮なくお伝えください。

## 主体性を育むために



力を合わせてこいのぼりづくり  
2021.4.21

新学期が始まって間もない朝の出来事です。年長組の男の子がニコニコしながら、家で書いてきたお手紙を先生に渡していました。たまたまそばにいた私も見せてもらおうと、折り紙の便箋に、『〇〇せんせい、ピーまんたべれたよ。』と、とってもかわいいメッセージが書いてありました。年少のころから苦手な食べ物が多くて、お昼ご飯の際にも、苦戦することも多かった彼でしたが、先生たちは、決して無理強いすることなく、少しずつ挑戦する姿を励ましてきました。きっとお家でも同じように応援してくださっていたのでしょう。なんて素敵な手紙でしょうか。お手紙をもらった先生も笑顔満開で「わー、やったね！」と両手をいっぱい広げて、その子を抱きしめました。うれしいうれしい朝の出来事を目の当たりにすることができた私は、思わず「ほんと、素敵な幼稚園だなあ」とつぶやいてしまいました。自画自賛で申し訳ないのですが、みみょう幼稚園では、こうした温かい心の交流を毎日随所に見ることができます。そして、この積み重ねこそが、子どもたちの主体的な行動を育てていると確信しています。

年長になると、筆箱や下敷きの用意をしていただき、教材『せんあそび』を取り入れています。かなの読み書きにも取り組んでいきますが、年中や年少時より、毎日のあそびの中に、文字や数、自然現象などに触れたり、興味を深めたりできるような環境の準備もしています。子どもたちは、成長の過程で、友だちや先生と関わりながら、自分の個性とペースで自由に選び、集中して遊びこむ経験を重ねていきます。そうしたあそびの積み重ねによって獲得した力を、自分の意思で、ここぞという時に発揮させるのです。苦手なピーマンが食べられた。先生に知らせたい。お手紙を書こう。幾重にも積み重ねられる心と身体の動きには、子どもの確かな成長が詰め込まれています。先生と喜びを分かち合った経験は、必ず次の行動や挑戦に繋がっていくことでしょう。そのためにも私たちは、ご家庭と協力しながら、より良い環境と、子どもを思いやる心を常に、高め、深め続けていかななくてはならないと思っています。

園長 三上 玲子